

太田市区長会研修会

～中島知久平の現代的意義

工都・太田の生みの親～

令和7年8月26日（火）に太田市藪塚本町文化ホールにて、区長・区長代理を対象に研修会を開催しました。

令和7年度の区長会研修会は、地域の更なる活性化に役立てていただくため、群馬学を提唱し、地域学の振興を図りつつ、自治体史の編纂・調査研究・執筆活動など多方面でご活躍されている、群馬地域学研究所の代表理事である手島仁さんにご講演をいただきました。

中島知久平氏は、単なる偉大な航空機設計者というだけでなく、まさに私たちの太田市を「工都」として発展させた立役者です。彼の先見性と起業家精神が、現在の太田市の産業基盤を築き上げたと言っても過言ではありません。

太田市の偉人である中島知久平についてご講演いただき、区長・区長代理の皆様にも興味関心をもって聞いていただくことができました。

終了後に回収したアンケートをみると、「太田市の発展に大変寄与した人物のことを深く知ることができてたいへん有意義だった」、「大変勉強になり、地元の誇りを感じることができた」などの意見がありました。参加された区長・区長代理のみなさんからは有意義だったという意見が多く見られました。

今回の研修会を通じて、中島知久平の功績を再認識するとともに、その精神をどのように現代の地域づくりに活かせるか、考えを深めていただけたらと思います。

